

これまでも、これからも。

文化振興の拠点として

演劇 次の30年も残していきたい



劇団静岡県史
松尾朋虎さん
(友田)

1998年にSPACの支援活動を行った際に初めてアエルに来ました。建物がギリシャの神殿のようなデザインで美しいと思ったのを覚えています。また、大ホールの壁面が緑一色なのも遊び心があって素敵だと思いました。

1,200人を収容できる規模のホールでありながら、舞台が客席と近いので、マイクを通さなくても演者の声が客席に届き、臨場感のある公演が楽しめます。舞台も袖が広いので、大道具の出し入れがしやすく、舞台転換がしやすい回り舞台など、非常に使いやすく感じます。私は菊川で活動を始めてまだ3年目ですが、こんな良い施設があるのは恵まれていると



▲劇団静岡県史「静岡茶●航海記」。明治時代の茶業発展に尽力した人々を多くの市民が演じた。

感じています。文化芸術を楽しむことは、いろいろな世界観に触れることです。非日常を楽しみむだけでなく、いろいろな視点を持つことができます。皆さんもぜひ、アエルの公演に遊びに来てください。多種多様な人が集まる場所があることで、アエルが文化発信の拠点になっていくと思います。これだけのホールが30年残っていることは、とても贅沢だと思います。市にあることを誇りに思っています。30年、多くの人に支えられて残ったアエルです。次の30年にも残していきたいです。

ピアノスト横山幸雄さんから お祝いメッセージ

シヨパンの名手として世界的に活躍するピアノスト横山幸雄氏からお祝いメッセージが届きました。横山氏は、過去3回にわたりアエルで演奏しています。



▲アエルで演奏する横山幸雄氏

菊川文化会館開館30周年、心よりお祝い申し上げます。奇しくも2021年は僕自身にとってもデビュー30年にあたる年でした。菊川文化会館の歴史と僕の演奏してきた時間が重なることに、不思議な縁を感じます。これからも菊川文化会館が素晴らしい芸術の発信地として、多くの聴衆、地域の皆様に愛される会館であってほしいと願っております。

横山幸雄



文化会館アエル
岩腰理樹 館長

アエルの目標は、市の文化の発展と活性化に貢献することです。多くの人に来てもらえるように、自主事業の内容をさらに充実させていきます。施設を貸し出すだけではなく「企画提案ができる貸館」として、イベントを企画したい人に対して、アドバイスがでる施設を目指しています。アエルで何かを始めたい皆さんと良い関係を築いて、より一層市民に身近なアエルを作っていきます。

もつと身近な文化会館へ

文化施設というと少し敷居が高く感じられるかもしれませんが、ですが、アエルでは、もつと身近な文化会館を目指して、来館の敷居を下げつつ、一方で事業の質は高くして、皆さんが「Always Enjoy Life」(いつでも人生を楽しむ)ができるようになります。広報菊川でも毎月最新の情報を掲載していますので、ぜひ遊びに来てください。